

議 長	事務局長	事務局次長	総務係長	係 員

## 委 員 会 記 録 簿

(開会中・閉会中)

委員会名	第 6 回 議会運営委員会			
開会日時	令和 3 年 1 月 19 日 午前 11 時 45 分 開会			
	令和 3 年 1 月 19 日 午後 0 時 47 分 閉会			
場 所	第 3 委員会室			
出席者数	委員定数 6 名中 出席者 5 名			
出席委員	児玉 史則	—	—	—
	山根 温子	大下 正幸	山本 優	—
	金行 哲昭	—	—	—
正副議長	穴戸 邦夫	石飛 慶久	—	—
欠席委員	熊高 昌三	—	—	—
説明のため 出席した者	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	総務部長	西岡 保典	総務課長	内藤 道也
	総務課行政係長	藤井 伸樹	—	—
	—	—	—	—
出席した 事務局職員	事務局長	森岡 雅昭	事務局次長	佐々木浩人
	総務係長	國岡 浩祐	—	—
付議事件	1、議 題 (1) 令和 3 年第 1 回安芸高田市議会定例会の運営について ① 提出案件について ② 会期及び日程について (2) 効率的な本会議運営について 2、その他			

### 3、経 過

#### 【開会 11:45】

○児玉副委員長 ただいまの出席委員は5名である。定足数に達しているので、これより議会運営委員会を開会する。

本日の議題は、お手元に配付した日程のとおりである。

#### (1) 令和3年 第1回安芸高田市議会定例会の運営について

##### ① 提出案件について

##### ② 会期及び日程について

○児玉副委員長 令和3年第1回安芸高田市議会定例会の運営についてを議題とする。

市長提出案件について、執行部の説明を求める。

○西岡総務部長 第1回定例会は、2月24日を招集日として準備を進めている。現段階で提出予定の議案は、条例及び一般議案が4件、予算関係が9件、計13議案である。

概要については、総務課長が説明する。

○内藤総務課長 (提出議案の概要について説明)

○児玉副委員長 質疑はないか。

(なし)

質疑なしと認める。

会期及び日程について、事務局に説明を求める。

○森岡事務局長 (会期及び日程について説明)

○児玉副委員長 意見はないか。

(なし)

令和3年第1回 安芸高田市議会定例会の日程については、2月24日開会、3月17日閉会とし、会期を22日間とすることに異議はないか。

(異議なし)

異議なしと認め、会期は22日間とする。

なお、次回の定例会についての議会運営委員会は2月12日を予定し、一般質問の締め切りは2月16日、正午とする。

執行部から、そのほかにないか。

副市長の人事案件の提出はどうなるか。

○西岡総務部長 今、募集をしてこれから人選になるので、初日には間に合わないと思うので、再度議運を開いて協議をしていただきたい。

○児玉副委員長 そのほかにないか。

(なし)

暫時休憩する。

休 憩 11:54 (執行部退席)

再 開 12:00

## (2) 効率的な本会議運営について

- 児玉副委員長 再開する。  
効率的な本会議運営についてを議題とする。  
12月定例会の一般質問において、市長・教育長の自席での答弁を試行的に行ったので、その結果を検証し、今後の運営について、ご協議いただきたい。  
事務局に資料の説明を求める。
- 森岡事務局長 (資料:「一般質問における答弁方法変更による検証について」「9月定例会における質問・答弁時間」「本会議運営の効率化・時間短縮等に向けた取り組み」について説明)
- 児玉副委員長 意見はないか。  
暫時休憩する。
- 休憩 12:13  
再開 12:35
- 児玉副委員長 再開する。  
事務局の説明にあったとおり時間短縮については効果が出ているが、エチケットとして市長・教育長は最初の答弁を答弁席で行い、その後は自席で行っていただくことに異議はないか。  
(異議なし)  
異議がないので、そのように決した。  
今後の時間短縮に向けた取り組みについて意見を伺いたい。  
暫時休憩する。
- 休憩 12:36  
再開 12:41
- 児玉副委員長 再開する。  
「1 議事運営の効率化及び時間短縮」について確認する。  
「(1) 発言の許可」は提案どおり進める。「(2) 質疑・討論の事前通告及び(3) 動議の提出」は、当日に届け出る可能性があるため取り下げる。「(4) 執行部(説明員以外)の出入」は提案どおり進める。「2 居眠り防止及び体調不良時の対策」は提案どおり進めることに異議はないか。  
(異議なし)  
異議なしと認め、そのように進める。

## (2) その他

- 児玉副委員長 その他の項に入る。  
皆さんから何かあるか。
- 宍戸議長 通年議会についてであるが、広島市は通年議会制度の導入に当たり、調査検討をされると新聞に掲載されていた。以前、三次市

や庄原市でも検討をされているが、取り組みを見送られている。本市でも検討したことがあるが、そのときは職員の仕事が増えるということなどの理由から私は反対の立場をとった。

今回コロナの問題がある。災害が発生し臨時会を開いたこともある。できるかできないかは分からないが、通年議会制度の導入についての調査研究を行っていただきたい。

○児玉副委員長

意見はないか。

○山根委員

BCP をされている議会もある。災害やコロナで動きがとれない場合でも、通年議会にしておけば色々な活動ができるのではないかと思う。メリット・デメリットなどを含め、考えなければならぬ時期にあると思う。

○児玉副委員長

ほかに意見はないか。

(なし)

議長の思いを全員協議会で話していただき、そういう機運があれば、議会運営委員会で調査するのか、特別委員会をつくって調査をするのかを議論して進め方を決めることに異議はないか。

(異議なし)

異議なしと認め、そのように進める。

皆さんから何かあるか。

(なし)

以上で、その他の項を終了する。

以上で、本日の議事はすべて終了した。

これをもって議会運営委員会を閉会する。

【閉会 12 : 47】

安芸高田市議会委員会条例第30条の規定によりここに署名する。

安芸高田市議会 議会運営委員長